



2021年11月10日
東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本メカトロニクス株式会社
三菱電機株式会社

新型ホームドアの実環境試験について

JR東日本では、お客さまと列車との接触や線路への転落を防止する対策として、2032年度末ごろまでに東京圏在来線の主要駅全243駅（線区単位※では330駅）にホームドアを導入することを目標として整備を進めています。

今回、従来型のホームドアと同様の形状を維持しつつ、扉や戸袋をスリット化して風が抜ける構造とすることで、設置工事の簡素化を実現する新型ホームドアの試作機を南武線登戸駅に設置し、今後の導入に向けた検証を進めてまいります。

※線区単位の具体例：有楽町駅の場合、山手線、京浜東北線の2駅となります。

1. 設置箇所

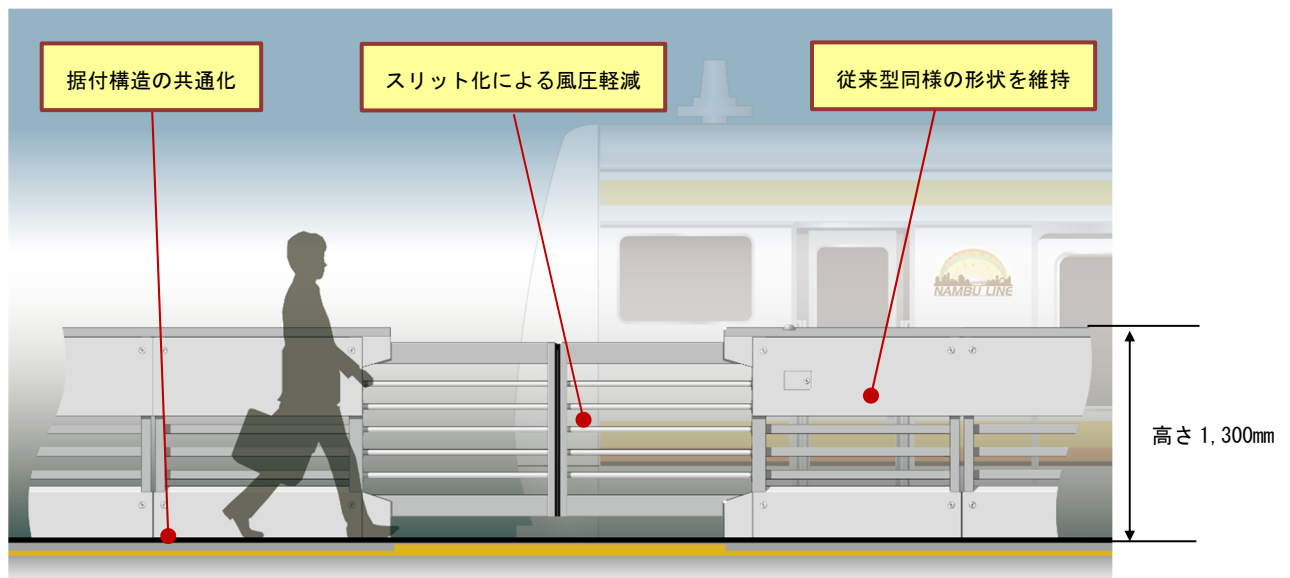
南武線登戸駅 1番線ホーム 川崎寄りホーム端部

※試作機のため、列車の停車位置とは距離を取った場所に機器1台を設置します

2. 検証期間

2021年11月16日 ～ 2021年12月23日（予定）

3. 新型ホームドアの特徴



- ・従来型のホームドアと同様の形状を維持しつつ、扉や戸袋をスリット化して風が抜ける構造とすることで風圧影響を軽減し、設置工事の簡素化が期待できます。
- ・据付構造を従来型のホームドアと共通化することで工事設計・施工を効率化します。



本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会、他関係報道機関にお届けしています。